

ノンポイント汚染研究委員会の皆様

ノンポイント汚染研究委員会
委員長 國松孝男

JWETへの論文投稿のご案内

1. 主旨

ノンポイント汚染研究委員会は、IWAのスペシャリストグループである Diffuse Pollution、Watershed and River Basin Management、および Urban Drainage と積極的に連携し研究発表をしています。このうち、Diffuse Pollution 国際会議(ICDP:International Conference on Diffuse Pollution)については、昨年の第11回ICDP国際会議はベロオリゾンチ(ブラジル)で、今年の第12回ICDP国際会議はコンケン(タイ)で開催され、多くのメンバーによる口頭およびポスター発表が行われました。しかし、これまでと異なりWS&T特集号への選択的掲載という特典が無くなっています。

そこで、この2回のICDP国際会議に発表された論文を中心に、これらに加えてノンポイント汚染研究委員会メンバーから新たな論文を受け付け、ノンポイント汚染に関わる論文を集中的にJWETに投稿するという企画です。

2. 投稿論文の責任編集・査読

(1) JWETのOriginal Paperとして受付をします。

(2) 投稿論文の編集・査読は、ノンポイント汚染研究委員会に編集・査読委員会を置き、委員会として責任編集・査読を行います。正式には11月の運営理事会にて承認されますが、本部担当理事等から内諾が得られていますので、準備を先に進めることになります。

(3) 編集・査読委員会は、國松孝男(委員長、滋賀県立大学)、井上隆信(農地林地部会長、豊橋技術科学大学)、古米弘明(都市流域部会長、東京大学)、藤井滋穂(国際活動担当、京都大学)、駒井幸雄(幹事、大阪工業大学)の5名で構成します。

(4) 投稿論文の査読は、原則として委員会メンバー1名と、適任の部会メンバー1名の計2名の査読者により、JWETの査読方法に基づいて行います。

3. 投稿方法

(1) ページ制限はありませんが6-20pを目安にしてください。

(2) 投稿論文は添付のJWET所定の書式に記入するようにして作成してください。

(3) Guidelines for Authors および Sample paper は、日本水環境学会HPの

[J. of Water Environment Technology](#)

をご覧ください。

(4) 完成論文はWORDファイルとしてメールの添付ファイルによりノンポイント汚染研究委員会編集・査読委員会事務局(駒井)まで下記のスケジュールにあわせてお送りください。

4. スケジュール

- (1) 第一次締め切り：2008年10月30日
査読期間： 受付後～11月25日
JWET 部会への送付：2008年11月末
発行：2008年12月号
- (2) 第二次締め切り：2008年12月20日
査読期間： 受付後～2009年2月20日
JWET 部会への送付：2009年2月末
発行：2009年3月号

査読状況により 2009年3月号に間に合わない場合は、順次以後の号に掲載することになります。

5. 送り先(e-mail)

komai@env.oit.ac.jp